

一般会計補正予算などを

原案どおり可決

観光客が訪れやすい環境の整備へ

平成28年第2回定例会を6月7日から15日までの9日間の会期で開催し、条例改正等4件、報告2件、人事案件2件、補正予算2件及び請願・陳情5件などの審議を行い、全て原案どおり可決しました。また、一般質問には3議員が登壇しました。
(審議の結果は6・7頁に掲載)

圏央道(大栄・横芝間) 早期着工等の決議を可決

本会議初日は、道の駅多古あじさい館の経営母体である株式会社多古の経営状況説明等の報告や、一般会計等の補正予算、条例の改正について提案理由の説明があり、質疑を行いました。また、人事案件2件について同意しました。

本会議終了後、各常任委員会を開催し、文教産業建設常任委員会は多古第一小学校と町立図書館を、総務厚生常任委員会は多古学童保育所をそれぞれ視察しました。
9日は一般質問を行いました。
(8・10頁に掲載)

10日は文教産業建設常任委員会を開催し、教育委員とともに各小・中学校を訪問し、学校経営の現状を伺うとともに、要望箇所を確認しました。
13日は総務厚生常任委員会を開催し、付託された陳情3件の審議を行いました。また、空港対策特別委員会協議会を開催し、航空機騒音測定結果などについて町から報告を受けました。

最終日の15日は採決を行い、町提出の5議案のほか、議会会議規則の改正、圏央道(大栄・横芝間)の早期着工等に関する決議、請願・陳情にかかる意見書を可決しました。意見書・決議は議長名で関係機関へ提出します。
(4・5頁に掲載)

多古台観光トイレ整備 工事・文化財案内板 設置工事などを補正

多古台バスターミナル隣接地にトイレを設置する多古台観光トイレ整備工事費等1543万8千円、町指定文化財案内板設



「おもてなし」の心でリピーターを増やせるかがカギ



多古台観光トイレ設置予定地

置工事費115万6千円や、飼料生産拡大整備支援事業補助金211万6千円など2000万7千円を追加し、総額を58億4229万5千円とする一般会計補正予算を議員全員の賛成で可決しました。

人事案件2件に同意

任期満了に伴う人権擁護委員の推薦について、現職の市原 實氏(66歳)を適任としました。(任期は、10月1日から3年)



市原 實氏(高野前)

また、職員の人異動に伴う固定資産評価員の選任について同意しました。

※人権擁護委員：人権擁護委員法で規定されており、人権相談を受けるほか、人権思想の普及に努める法務大臣委嘱の民間ボランティアです。委嘱にあたっては、町長が議会の意見を聞いて、候補者を大臣に推薦することとなっています。



土の触感、匂いを感じて収穫だ！(都市と農村の交流協会主催 ジャがいも掘り)



あじさいの季節、日本寺には多くの観光客の姿が